常盤の翠

志・寛・錬

発行
令和2年9月29日
鹿児島市立伊敷中学校

逆境を乗り越え、新たな「伝統」と「創造」の体育大会

校長　河瀬　雅之

　体育大会の写真を整理していると、場面場面の音、声、空気の躍動がよみがえってくる。予報を裏切り、天も味方をしてくれた。「逆境を乗り越え輝け　轟かせ伊敷旋風」まさに大会スローガンのごとく、様々な逆境を乗り越え、たどり着いた第74回体育大会であった。

　大会前日には、親父の会をはじめとする保護者有志でほぼ一日がかりで緑門を作っていただいた。**その緑門が、子供たちの晴れ舞台を力強く応援してくれているように感じた。**

　多くの学校が密を避けるために午前中開催となる中、できる限り通常に近い開催をという思いが叶ったのは、なんといっても学校内での昼食の自粛、入校者数の制限など、様々な不便や**不満を我慢してくださった保護者の皆様のおかげと感謝申し上げたい。**さらに学校では、生徒テントを倍に広げる工夫、接触が多い種目の代替種目への変更、開会式、閉会式の簡略化による手洗い時間の確保など、考えつく限りの工夫も取り入れた。

　そんな安全安心を最優先にした体育大会で一番大切にしたのは、**「子供たちが満足できる内容であるか？」という問いへのこだわり**である。３年のダンス（We、「make you happy!」）、３学年による伊敷旋風などは初めての種目であったが、写真に写る一人一人の表情には喜びが満ちていた。体育部長の師玉君は、練習の時から全体の活動を俯瞰（ふかん）し、次の練習や本番での改善点、目標を的確に指摘するなど、**生徒とは思えないくらい立派なリーダーシップ**を発揮していた。

　部活動紹介では、各部を代表して陸上部の宮内君と柔道部の瀧川さんが、部活動への思いと後輩へのメッセージを語ってくれた。その中で述べられた**「今年果たし得なかった夢を高校に行っても追い続ける。」という決意は、３年生全ての気持ちを代弁**しているようで心にしみた。

　応援団の演舞は圧巻で、紅白甲乙つけ難く、息の揃った迫力ある演舞だった。やり遂げた後、自然とあふれた涙は、一生忘れることのない思い出として心に刻まれたことだろう。**両団長が目標に掲げた「大会の大成功」は誰もが実感**したと思う。

　生徒が懸命に取り組む姿は、見ていて心が洗われる。見る者の背筋をもピンと伸ばす緊張感を感じさせる体育大会であった。

　来月行事の黒板からは、すでに文化祭練習の文字も目に飛び込んでくる。**今後も困難な日々は続くだろうが、体育大会で感じた生徒の誠実さ、ひたむきさがあればどんな困難でも乗り越えられる**と確信する。私たち伊敷中スタッフ一同、これからも子供たちの安全を最優先に、充実した教育活動を推進するため創意工夫し、全力で取り組む覚悟である。子供たちに負けぬよう**我々も伊敷旋風を起こしていきたい。**

新たな出航に向けて

令和２年度
生徒会立会演説会

　９月12日(土)、第75代生徒会長、副会長を決める生徒会立会演説会が実施されました。今回は例年と違い、ZOOMを利用した演説会となりました。

　生徒会長立候補者２年生８名、生徒会副会長立候補者１年生９名は、相手が見えず、画面に向かって話すことの難しさ感じながらも堂々と、「伊敷中学校をより良くしたい」という熱い思いを伝える演説ができていました。

第74代生徒会は、「We Love 伊敷 ～ 想像して創造する。」をスローガンに生徒会活動に取り組んできました。残りの期間、精一杯活動し、有終の美を飾り引き継いでほしいです。第75代生徒会には、今までの伝統に創意工夫を加えながら、新たな伝統を築き上げていくことを期待します。

＜投票結果＞
生徒会会長
峯苫　泰志（２年２組）
生徒会副会長
町田　歩未（２年４組）
新地　勇太（１年１組）
田代　紅愛（１年１組）

速報　おめでとう！

　このたよりの執筆中，うれしいニュースが入ってきました。

　９月29日（火），桜島溶岩グラウンド周回コースにおいて市郡中学校駅伝競走大会が行われ，男子が見事優勝を果たしました。

　全学年から選ばれた代表選手による快挙です。強豪ひしめく中，昨年に引き続いての栄冠となりました。

　女子は12位でしたが，昨年のタイムを大きく縮める健闘でした。

戦争と平和について考える

　以前，月１回，新聞記事を読んで感想や意見を書く活動を行っていることを紹介しました。

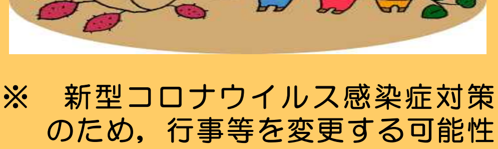
　今月は，「特攻隊」に関する新聞記事を取り上げました。

　戦後７５年が経った今，戦争体験した人による戦争の悲惨さや平和の尊さを語る語り部さんが高齢化に伴い少なくっている現状があります。このことで，戦争の悲惨さや平和の尊さを考える機会が少なくなり，やがては同じ過ちを繰り返すのではないかという心配があり，そうならないために次の世代にどのような形でつないでいけばいいのだろうかという課題があります。

　こういったことから，今回の取組は戦争の悲惨さや平和の尊さを考えるいい機会になったと思います。

10月　主な行事予定

7日（水）	私立高校説明会
8日（木）	私立高校説明会
10日（土）	ＰＴＡ講演会
21日（水）	生徒会任命式 ·引継式
30日（金）	第７４回文化祭 食に感謝する日



※　新型コロナウイルス感染症対策のため，行事等を変更する可能性があります。変更があった際は，その都度連絡をします。

輝いた　轟いた　伊敷旋風

　体育大会スローガン「逆境を乗り越え　輝け　轟かせ　伊敷旋風」として、第74回体育大会が盛大に開催されました。

　１年生は、中学生になって初めての体育大会。何もかも新鮮に感じられたようで、思いっきり楽しむ姿がありました。

　２年生は、桑水流君の号令で始まったソーラン節。「伊敷中学校を引っ張っていく役」を３年生から２年生に引き継いでも大丈夫と思わせる２年生全員の息の合った力強い踊りを披露してくれました。

　３年生は、校内音楽コンクールに引き続き、「さすが３年生」と思わせる姿が随所に見られました。後輩たちは先輩の活躍を見て「来年は、今年以上の体育大会にするぞ」と決意したに違いありません。

　生徒たちはコロナ禍にありながらも、多くの方に支えられて体育大会ができることに感謝し、開閉会式、応援、競技等に精一杯取り組んでいました。

　すべての生徒たちがいい表情で、充実した体育大会となりました。